

市民活動サポートセンターで

お悩み相談

市民活動サポートセンターに新しく相談員として着任しました、齋木成治と申します。

皆さんの「もっとこうしたい!」「何か始めたいけど、どうしたら?」という気持ち、全力で応援します! センターもパワーアップして、情報発信も相談業務も、もっと皆さんの役に立つように進化中ですので、ぜひ気軽に活用してください。サポートセンターで週2日ほど勤務しています。

してみませんか?

出勤予定はこちら



私たちにできること

- NPOの運営ってどうやるの?
- 会計の処理、これで合ってる?
- ちょっと法律のことで相談したいんだけど…



そんな時は、私、齋木にお任せください! 他の都市の良い事例も参考にしながら、皆さんの活動がスムーズに進むように、具体的なアドバイスをさせていただきます。

「相談」って言うと、なんだか堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、全然そんなことないんです! 「ちょっと聞いてほしいんだけど…」っていうおしゃべりベースでも大歓迎。一緒に考えながら、皆さんの「やりたい!」を形にするお手伝いができたら嬉しいです。「ちょっと話してみようかな」と思ったら、ぜひ私、齋木に会いに来てください!

センターでお待ちしています! あなたの想いを、ぜひ聞かせてください!

市民活動に関するなんでも相談窓口

団体の立ち上げや広報活動など、市民活動に関する困りごとを気軽に相談してみませんか。

日時
12月4日(木)、12月16日(火)
1月7日(水)、1月20日(火)
2月5日(木)、2月17日(火)
いずれも午後 各回50分

申し込み
1週間前までに上記のコードから
予約または市民協働課
(047-436-3201)にご連絡ください



※市民活動サポートセンターの窓口でも予約を受け付けています。

市民活動サポートセンター 運営協議会Xアカウント

市民活動・ボランティアに関する『旬』な情報を発信しています!



ふなばし市民力発見サイト“BLOG”

本紙「しみんりょく」の制作風景や、各種イベントの裏側など、サポートセンター運営協議会の面々がブログに投稿中。登録団体であれば、どなたでもブログ機能を利用可能です。是非、日々の活動をご紹介します!



しみんりょく

Vol.62

令和7年
(2025年)
復刊号

船橋市市民活動サポートセンターだより

出逢いときっかけをつなぐかけわたし役に

かみい しゅうと

船橋市市民活動団体 かけわたし 神井 秋人さん(23)

東洋大学の大学院に通う神井さんは、普段、社会学を専攻して勉学に励んでいます。

学業に加え、2年間参加していたこども食堂でのボランティアをきっかけに、「ふなばしを中心に人との出逢いや夢中になれるきっかけをつなぐ・かけわたし役を担いたい」という思いで令和6年7月に「かけわたし」を立ち上げました。「地域に出逢いときっかけをかけわたしていく」をスローガンに、「多様な主体が活躍できる社会へ」というビジョンを掲げて活動をしています。

「もともと人と話すことが苦手で、自分のことがすごく嫌いだった」と語る神井さんですが、活動を通して小さな成功体験や色々な人との関わりの中で、少しずつ自分のことを好きになることができたそうです。そういった経験を踏まえて、特に地域の子ども・若者にとって様々な人と関わり、色々な価値観と触れられる場を地域に増やし、将来や目の前の選択肢を広げたいという思いを持って活動をされています。

主な活動として「みんな食堂(こども食堂)」「プレーパーク」「哲学カフェ」の3つを開催しており、人とのつながりや新たな一歩を踏み出す後押しがしたいという思いで活動をされています。コロナの影響もあり、地域における人との出逢いや、夢中になって取り組むことのできる「きっかけ」が得られにくい



ことを一番の課題だと考え、地域を巻き込みながら子ども・若者を取り巻く環境について考えるきっかけを増やしていきたいとのことでした。

今後の目指す姿を聞いたところ、「活動を通して地域の交流拠点を増やすと同時に、子ども・若者の居場所、そして挑戦できる場を船橋市内に増やしていきたい」と、地域のまちづくりを担っていく意気込みを話してくださいました。



船橋市市民活動団体 かけわたしの活動



みんな食堂／こども食堂

こども食堂のように、食を通して参加者の方が地域の方と出逢い、色んなきっかけや体験を得る、そんな場所になってほしいと思い、開催をしています。



プレーパーク／冒険遊び場

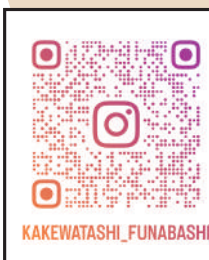
子どもが自分の責任で自由に過ごせる冒険遊び場です。できるだけ禁止事項を作らず、子ども達のペースで挑戦しながら過ごすことを大切にしています。



哲学カフェ / 哲学対話

答えのない問いをみんなで対話する時間と場所です。対話を通して、自分との違いや価値観の広がり、もやもやを楽しむ場所です。聴くだけ参加も大歓迎です。

Instagramは
こちら↓



編集・発行：船橋市市民活動サポートセンター運営協議会

【市民活動サポートセンター】

〒273-0005 船橋市本町1-3-1 フェイスビル5階

TEL(FAX)：047-423-3483(3436)

開館：月～土曜日 午前9時～午後9時

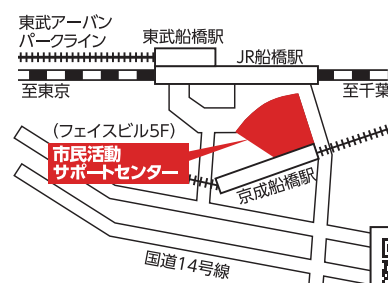
日曜日・祝休日 午前9時～午後5時

休館：12月29日～翌年1月3日

【事務局】船橋市 市民協働課

TEL：047-436-3201 FAX：047-436-3063 E-mail：shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp

センターに関する
最新情報はこちら
ふなばし市民力発見
サイトにリンク



《市民活動サポートセンター》や《しみんりょく》についてのご意見をお待ちしております

特集



こども食堂



こども食堂って？

こども食堂は、主にこどもや親子に無料または安価で食事を提供する場です。ボランティア等の方々が、善意で提供された食材等を元に食事を提供しており、こどもたちの居場所や多世代交流の場にもなっています。貧困家庭や孤食のこどもに食事を提供し、安心して過ごせる場所として始まりましたが、最近は、地域のすべてのこどもや親、地域の大人など、対象を限定しない食堂が増えています。また、食堂という形を取らず、こどもが放課後に自宅以外で過ごす居場所の中で食事を出しているところもあり、地域全体でこどもを育てる環境づくり、地域の中でのそれぞれの居場所づくりのきっかけとなる役割も担っています。

船橋市のこども食堂の輪

市内には40カ所以上のこども食堂があり、船橋で地域とこどもたちの居場所をつなぐ目的として、こども食堂運営者等で組織される「ふなばし子ども食堂ネットワーク」があります。「ふなばし子ども食堂ネットワーク」では、船橋のこども食堂に行きたい人、応援したい人を結びつける活動をしています。船橋市内のこども食堂の開催情報については、「ふなばし子ども食堂ネットワーク」のホームページをご覧ください。

HPはこちらから



あなたもこども食堂に参加してみませんか？

自分にできること、自分の得意なこと、自分にできる範囲で…。お手伝いしてくださるボランティアスタッフを募集しています。

運営ボランティア こども食堂開催日に 各食堂でボランティア

調理／配膳／受付／
こどもの外回りの安全対策／
読み聞かせ／学習支援等

運搬ボランティア 食材の引き取り・配送

食材提供元から各食堂への自
家用車を使った運搬(主に土曜
日夕方、ガソリン代実費支給)

プロボノ

課題解決に向け個人の
スキルを活用するボランティア

調理／配膳／受付／
こどもの外回りの安全対策／
読み聞かせ／学習支援等

市内でこども食堂を運営する笹田さんにお話を聞きました！

こどもがひとりで来ても安心して食事ができる「場」を作り、安心・安全・美味しい食事を提供します。そして、食事を通じて地域のこども達と繋がっていきたくと考えています。こども食堂が地域交流の拠点となって、こどもだけでなく地域全体が元気になる発信元になればと考えています。



みんなの家こっこ

開催場所：宮本8丁目民家
開催日時：毎月第3日曜日
対象者：どなたでも
参加費：高校生まで無料
大人300円

Vol.1

市内企業の社会貢献活動紹介

今回は

千葉ジェッツふなばし

千葉ジェッツふなばしでは、「“ささえる”からはじまる社会貢献」をスローガンに社会貢献プロジェクト“JETS ASSIST”を実施しています。千葉ジェッツに関わる人たちが社会貢献活動に前向きに携わっていけるように、アシストするという意味で「JETS ASSIST」を実施しています。

千葉ジェッツふなばし子ども食堂

定期的に「GiGOらテラスTOKYO-BAY店」で行われている、千葉ジェッツ主催の子ども食堂に取材に行きました。子ども食堂は、家族が不在の食卓でひとりで食事をする「孤食」の解消や地域との連携を深める場として設けられています。千葉ジェッツでは、地域の子どもの笑顔を生み出す場を作りたい想いで開催しています。店内は明るく広々としていて、家族連れや子どもたちが笑顔で食事を楽しんでいました。千葉ジェッツが企画したこのイベントは、ただの「ごはんを食べる場所」ではなく、会場に並んだおいしい料理を、子どもたちが楽しそうに食べている姿が本当に印象的でした。

また、食育講座も行われ地域の方々が交流を深める素敵な場所でした。今回の子ども食堂に参加した家族に聞いてみると、こんな素敵な声が届きました!「船橋市の子ども食堂は今回初めての参加でしたが、おかげで千葉ジェッツの活動を知るきっかけになりました!」「子ども食堂や農業体験など、これまでも千葉ジェッツの活動にたくさん参加してきました」。千葉ジェッツでは、素晴らしい活動を続けているようですね!



地域連携課 畠中雄介さんにお話を聞きました!

「社会貢献活動として、地域社会の発展や社会課題を解決する活動を積極的に行っています。事業を通して、参加した方に喜んでいただいているところを見ると達成感ややりがいを感じる」と活動に対する想いを話してくださいました。また、今後についても「一人でも多くの人々がハッピーになれる活動を今後も推進していきます!」と熱いメッセージをいただきました。

千葉ジェッツ・原修太が広げる勇気の輪 ハラの輪

原選手が行っている社会貢献プロジェクト「ハラの輪」では、難病の潰瘍性大腸炎を抱えながらプレーしている原選手自身の経験を踏まえ、長期療養児支援をメインに活動しています。病院訪問や同じ病気を抱える子どもたちを試合に招待するなど交流を図ったり、病気の啓発などを実施しています。



©CHIBAJETS FUNABASHI

市内の生徒・学生とゴミ拾い活動をしました!

8月30日(土)にふなばし夏のボランティア体験事業として、船橋駅周辺エリアにてゴミ拾い対決を実施しました。当日は31名の参加者が赤(ジェッツチーム)とピンク(ジャンボくんチーム)の2チームに分かれゴミ拾いをしました。限られた時間の中でしたが、たくさんのゴミを拾い約14kgのゴミを収集することができました。引き続き地域に根差した活動を継続してまいります。

